学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段から様々なものに興味･関心をもち、視点（線）を注ぐ。
・焦らず、慌てず、じっくり時間をかけて１つのものを創り上げる。
・構想を練るときに必要な資料を、美術室や図書館で調べる。
・作品完成までのプロセスを大切にする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに､意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり､自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事柄を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わおうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	パッケージデザイン	【デザイン】 ・デザイン パッケージ コンセプトボード ・高校展の鑑賞	a:素材の特徴を生かして構想を練っているか。 b:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を追求して表現しているか。 c:課題に対して意欲的に取り組もうとしているか。様々な作品を鑑賞し、参考にしながら、自分にとってどうするのかを考える。	ワークシート アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	ワークシート アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート 鑑賞レポート
2学期	絵画 油絵	【絵画】 ・油絵 卓上の瓶などのモチーフ F6 サイズ	a:スケッチをしっかりやり、写実の部分と構想を多面的にとらえる。 b:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 c:課題を決定したときにどう表現するか、意欲的にどう取り組むか。また様々な作品を鑑賞し、参考にしながら、自分にとってどうするのかを考える。	ワークシート スケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	ワークシート スケッチ 取り組み状況 振り返りシート

3 学 期	絵画 （自由テーマ・模写）・ ペーパーナイフ・デザイン（トランプ）	【絵画】【工芸】【デザイン】【鑑賞】 ・油彩・アクリル・水彩 自由テーマ、名画の模 写 ・木彫 ペーパーナイフ（木工） 実用性と造形性 ・デザイン トランプのデザイン この中から1つ選択し、制作する	a：意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 b：柔軟な発想と構想を練り、作品の完成度を高めていく。 c：関連する資料を調べ、意欲的に取り組む。また様々な作品を鑑賞し、刺激をうけ、自分の作品に生かしていく。	ワークシート アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	ワークシート アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度